

2 学年 社会科 家庭学習

休校が続いていますがこの時期に予習できるようにプリントを出します。頑張って取り組みましょう。
このプリントと同時並行で E-ライブラリでの学習も進めておくといいと思います。
すでに 1 年で学習したクラスもありますが 2 年生では全クラス教科書 P80「東アジアとの交流」から始めます。



体調崩さないで頑張ろう！
教科書と資料集を使ってプリント進めていってね！

3-2-3 東アジアとの交流

内容

- 1 室町時代の日本周辺の状況を知る
- 2 それぞれの地域の特徴を知る
- 3 まとめ

用意するもの：歴史の教科書、歴史の資料集



- 1 室町時代の日本周辺の状況を知る
(作業 1)

教科書 P77「歴史にアクセス」の 5 モンゴル帝国の拡大と教科書 P80 3 室町時代の海上交通と倭寇を比較して大陸の国がどのように変化したか読み取りましょう。

鎌倉時代	室町時代中期
元	明
高麗	朝鮮

(作業 2)

この 2 か国以外にも当時交易していた地域がありました。現在では日本の領土に入っていますが当時は違う名称で呼ばれていました。

資料集 P52、53 を見て当時の地域名をこたえましょう

現在の名称	当時の名称
沖縄県	琉球王国
北海道	土地：蝦夷地 住んでいた人々：アイヌ民族

(作業3)

資料集 P5 2、5 3 には黄色とピンクで塗られている場所があります。これは倭寇の活動地域です。

倭寇について次の間に資料集 P5 2 ①民軍と戦う倭寇を読んで答えなさい

問1 倭寇とはどのような活動をする集団ですか

答え：朝鮮半島や中国の沿岸部を荒らす集団

問2 倭寇はどのような人々で構成されていましたか

答え：前期 多くが日本人で構成されていた

後期 大部分が中国人で構成されていた

九州などの漁民が貿易をする集団から海賊行為をする集団になったのが倭寇といわれています。



2 それぞれの地域の特色を知る

(明)

日本と明は交易を「勘合貿易」という特殊な方法で行っていました。この方法で交易をおこなっていた理由とその方法を資料集 P5 2 の左下②日明貿易（勘合貿易）の仕組みを見て簡単に説明しなさい。

勘合貿易を行っていた理由：正式な貿易船と倭寇とを見分けるため

方法：あらかじめ日本に渡される①本字勘合と明が持っている②本字底簿を③寧波（にんぽう）と

④北京でそれぞれ照合検査を行う。

(朝鮮)

朝鮮を建てた人物名と輸出入していた品物を答えなさい

日明貿易を始めたのは足利義満です



朝鮮を建てた人物：李成桂

輸出品：銅や硫黄 輸入品：綿製品や経典

(琉球とアイヌの人々)

琉球は中国、朝鮮、日本、他のアジアの国々とも交易していました。このような様々な国と貿易をすることで産物をやりとりしていました。この方法をなんといいますか。教科書 P81「琉球王国の成立」を読んで答えなさい。

琉球王国の貿易方法：中継ぎ貿易

アイヌの人々は現在の青森県の十三湊を中心に和人（本州の人間）と交易をおこなっていました。しかし内容はアイヌの人々に不利益なものだったため15世紀にある事件がおきます。その内容を教科書 P81「アイヌ民族の交易」を読んで答えなさい。

15世紀に起きたこと：首長のコシャマインを中心に戦いを起こした

3 まとめ

室町時代に現在の中国では元に変わり①明が朝鮮半島には②李成桂が建国した朝鮮があり日本と交易を行っていた。

また③倭寇と呼ばれる沿岸を荒らす集団も存在した。③に貿易を妨害されてないように室町幕府と①は④勘合貿易と呼ばれる方法で正式な貿易船と③を見分けて貿易を行っていた。

この他の地域では現在の沖縄県は当時⑤琉球王国と呼ばれており様々な地域と交易をおこなう

⑥中継ぎ貿易をして利益を得ていた。また現在の北海道は蝦夷地とよばれそこに住む人々は

⑦アイヌ民族と呼ばれていた。

⑦と和人の交易は不平等だったため15世紀アイヌの人々は首長である⑧コシャマインを中心に戦いを起こしたが敗北した。



みなさんお疲れ様でした！

しっかり授業！時間分の量なので大変だったかなと思いますができましたか？

戸塚中学校のHPではプリント以外にも先生たちがとった動画も載せてあります。

先生も体育の動画に参加したのでぜひ見てくださ～い

福中